

たのしいでんきプラン別説明書

工事用プラン(電灯)

北海道・東北・東京・中部・北陸

関西・中国・四国・九州

2026年5月14日実施

HTB エナジー株式会社

たのしいでんきプラン別説明書
[工事用プラン(電灯)]

目次

1	契約種別	4
2	工事用プラン(電灯)北海道	5
3	工事用プラン(電灯)東北	6
4	工事用プラン(電灯)東京	7
5	工事用プラン(電灯)中部	8
6	工事用プラン(電灯)北陸	9
7	工事用プラン(電灯)関西	10
8	工事用プラン(電灯)中国	12
9	工事用プラン(電灯)四国	14
10	工事用プラン(電灯)九州	16
11	本説明書の変更および廃止	17

たのしいでんきプラン別説明書工事用プラン(電灯)(以下、「本プラン」といいます。)は、当社のたのしいでんき約款(以下、「たのしいでんき約款」といいます。)に基づき、電灯または小型機器をご使用の個人のお客さまへ電気を供給するときの料金、その他の条件を定めたものです。

【本プランの料金構成に関する重要事項】

本プランは、電気料金の一部である調達料金が、日本卸電力取引所(JEPX)のスポット市場価格(エリアプライス)に連動して30分ごとに変動する市場連動型料金メニューです。市場価格が急激に高騰した場合、その変動が直接、お客さまの電気料金に反映され、従来の料金プランと比較して電気料金が大幅に高額になるリスクがあります。ご契約にあたっては、市場価格の変動リスクを十分にご理解いただき、市場価格の動向をご確認いただくようお願いいたします。

1. 実施期日と適用条件
本説明書は、2026年5月14日より実施し、お客さまにより本プランへのお申し込みがなされ、その後当社が承諾し契約に至った場合に適用されます。
2. たのしいでんき約款49(手数料等)の適用除外
本プランによるお客さまの需給契約については、たのしいでんき約款49(手数料等)に定める(3)解約違約金、(5)契約廃止手数料および(6)新設事務手数料は発生しないものとします。
3. 料金表
本説明書における、電気料金については次の「たのしいでんき 料金表」において、定めます。

たのしいでんき料金表

本説明書における、電気料金およびその請求等の条件についてはこの料金表において、当社が定めます。

1 契約種別

契約種別は、次のとおりとします。

需 要 区 分	契 約 種 別	
電 灯 需 要	工事用プラン(電灯)北海道	従量電灯 C
	工事用プラン(電灯)東北	従量電灯 C
	工事用プラン(電灯)東京	従量電灯 C
	工事用プラン(電灯)中部	従量電灯 C
	工事用プラン(電灯)北陸	従量電灯 C
	工事用プラン(電灯)関西	従量電灯 B 従量電灯 C
	工事用プラン(電灯)中国	従量電灯 B 従量電灯 C
	工事用プラン(電灯)四国	従量電灯 B 従量電灯 C
	工事用プラン(電灯)九州	従量電灯 C

2 工事用プラン(電灯)北海道

電灯または小型機器をご使用のお客さま向けのメニューとし、次のいずれにも該当するものに適用します。

(1) 従量電灯C

イ. 適用条件

- (イ) 供給地が、北海道電力ネットワーク株式会社管内であること。
- (ロ) 契約電流が 3 キロボルトアンペア以上であり、かつ、原則として 50 キロボルトアンペア未満であること。
)1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合は、契約容量と契約電力との合計(この場合、1 キロボルトアンペアを 1 キロワットとみなします。)が 50 キロワット未満であること。ただし、1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合で、お客さまが希望され、かつ、お客さまの電気の使用状態、当社の供給設備の状況等から当社が技術上または経済上低圧での電気の供給が適当と認めるときは、(イ)(ロ)に該当し、かつ、(ハ)の契約容量と契約電力との合計が 50 キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、当社は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。

ロ. 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトとし、周波数は、標準周波数 50 ヘルツとします。ただし、供給電気方式および供給電圧については、技術上または当社の供給設備の都合でやむをえない場合には、交流単相 2 線式標準電圧 100 ボルトもしくは 200 ボルトまたは交流 3 相 3 線式標準電圧 200 ボルトとすることがあります。

ハ. 契約負荷設備

契約負荷設備をあらかじめ設定していただきます。

ニ. 契約容量

- (イ) 契約容量は、契約負荷設備の総容量(入力とします。なお、出力で表示されている場合等は、各契約負荷設備ごとに[負荷設備の入力換算容量]によって換算するものとします。)に次の係数を乗じてえた値とします。ただし、差込口の数と電気機器の数が異なる場合等特別の事情がある場合は(契約負荷設備の総容量の算定)によって総容量を定めます。

最初の 6 キロボルトアンペアにつき	95 パーセント
次の 14 キロボルトアンペアにつき	85 パーセント
次の 30 キロボルトアンペアにつき	75 パーセント
50 キロボルトアンペアをこえる部分につき	65 パーセント

- (ロ) お客さまが契約主開閉器により契約容量を定めることを希望される場合には、契約容量は、(イ)にかかわらず、契約主開閉器の定格電流にもとづき(契約容量および契約電力の算定方法)により算定された値とします。この場合、契約主開閉器をあらかじめ設定していただきます。なお、当社は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認します。

ホ. 料金

料金は、基本料金、電力量料金、調達料金、「たのしいでんき約款」別表 1(再生可能エネルギー発電促進賦課金)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金、「たのしいでんき約款」別表 5(容量拠出金反映額)に定める容量拠出金反映額の合計とします。

(イ) 基本料金

基本料金は、1月につき次のとおりとします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額とします。

契約容量 1 キロボルトアンペアにつき	411 円 74 銭
---------------------	------------

(ロ) 電力量料金

a. 電力量料金は、以下の算定式によって求められる金額とします。

b. $\text{使用電力量} \times (\text{託送従量単価}(\times 1) + \text{需給管理手数料}(\times 2))$

※1:「託送従量単価」とは、北海道電力ネットワーク株式会社が託送供給等約款にて定める託送料金のうち臨時接続送電サービスの単価を指すものとします。

※2:「需給管理手数料」とは、当社が定める、電力を安定的に供給し、これを管理するために要する費用相当額(消費税等相当額を含む)をいいます。

当該単価は、1kWh あたり 5 円とします。

(ハ) 調達料金

調達料金は、以下の a.および b.それぞれの算定式によって求められる金額の総額とします。なお、各 a.および b.の金額の単位は 0.01 円とし、その端数は小数第 3 位以下を切り捨てるものとします。

a. $30 \text{ 分コマ}(\times 3) \text{ ごと} \times \text{使用電力量} \times \text{各 30 分コマに対応するエリアプライス}(\times 4) \div (1 - \text{損失率}(\times 5)) \times (1 + \text{消費税率})$ 。

b. $\text{使用電力量} \times \text{一般社団法人日本卸電力取引所(以下「JEPX」といいます。)} \text{ が定める約定量 1kWh あたりのスポット取引売買手数料(約定量従量制)}(\times 6) \div (1 - \text{損失率}(\times 5)) \times (1 + \text{消費税率})$

※3:「30 分コマ」とは、1 日を毎時 0 分から 30 分までと毎時 30 分から 0 分までの 48 個に区切った 30 分単位を指すものとします。

※4:「エリアプライス」とは、JEPX のスポット市場取引における、北海道電力ネットワーク株式会社の供給区域の 30 分コマごとのエリアプライスを指すものとします。

※5:「損失率」とは、北海道電力ネットワーク株式会社が託送供給等約款にて定める損失率を指すものとします。

※6:N 月の検針日から N+1 月の検針日の前日までの期間において使用される電気の料金には、N+1 月の検針日の前日が属する月のスポット取引売買手数料(約定量従量制)を適用するものとします。

3 工事用プラン(電灯)東北

電灯または小型機器をご使用のお客さま向けのメニューとし、次のいずれにも該当するものに適用します。

(1) 従量電灯 C

イ. 適用条件

- (イ) 供給地が、東北電力ネットワーク株式会社管内であること。
- (ロ) 契約容量が 3 キロボルトアンペア以上であり、かつ、原則として 50 キロボルトアンペア未満であること。
1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合は、契約容量と契約電力との合計(この場合、1 キロボルトアンペアを 1 キロワットとみなします。)が 50 キロワット未満であること。ただし、1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合で、お客さまが希望され、かつ、お客さまの電気の使用状態、当社の供給設備の状況等から当社が技術上または経済上低圧での電気の供給が適当と認めるときは、(イ)(ロ)に該当し、かつ、(ハ)の契約容量と契約電力との合計が 50 キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、当社は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。

ロ. 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトとし、周波数は、標準周波数 50 ヘルツとします。ただし、供給電気方式および供給電圧については、技術上または当社の供給設備の都合でやむをえない場合には、交流単相 2 線式標準電圧 100 ボルトもしくは 200 ボルトまたは交流 3 相 3 線式標準電圧 200 ボルトすることがあります。

ハ. 契約負荷設備

契約負荷設備をあらかじめ設定していただきます。

ニ. 契約容量

- (イ) 契約容量は、契約負荷設備の総容量(入力とします。なお、出力で表示されている場合等は、各契約負荷設備ごとに[負荷設備の入力換算容量]によって換算するものとします。)に次の係数を乗じてえた値とします。ただし、差込口の数と電気機器の数が異なる場合等特別の事情がある場合は(契約負荷設備の総容量の算定)によって総容量を定めます。

最初の 6 キロボルトアンペアにつき	95 パーセント
次の 14 キロボルトアンペアにつき	85 パーセント
次の 30 キロボルトアンペアにつき	75 パーセント
50 キロボルトアンペアをこえる部分につき	65 パーセント

- (ロ) お客さまが契約主開閉器により契約容量を定めることを希望される場合には、契約容量は、(イ)にかかわらず、契約主開閉器の定格電流にもとづき(契約容量および契約電力の算定方法)により算定された値とします。この場合、契約主開閉器をあらかじめ設定していただきます。なお、当社は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認します。

ホ. 料金

料金は、基本料金、電力量料金、調達料金、「たのしいでんき約款」別表 1(再生可能エネルギー発電促進賦課金)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金、「たのしいでんき約款」別表 5(容量拠出金反映額)に定める容量拠出金反映額の合計とします。

(イ) 基本料金

基本料金は、1月につき次のとおりとします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額とします。

契約容量 1 キロボルトアンペアにつき	365 円 90 銭
---------------------	------------

(ロ) 電力量料金

a. 電力量料金は、以下の算定式によって求められる金額とします。

b. 使用電力量×(託送従量単価(※1)+需給管理手数料(※2))

※1:「託送従量単価」とは、東北電力ネットワーク株式会社が託送供給等約款にて定める託送料金のうち、臨時接続送電サービスの単価を指すものとします。

※2:「需給管理手数料」とは、当社が定める、電力を安定的に供給し、これを管理するために要する費用相当額(消費税等相当額を含む)をいいます。

当該単価は、1kWh あたり 5 円とします。

(ハ) 調達料金

調達料金は、以下の a.および b.それぞれの算定式によって求められる金額の総額とします。なお、各 a.および b.の金額の単位は 0.01 円とし、その端数は小数第 3 位以下を切り捨てるものとします。

(イ) 30 分コマ(※3)ごとの使用電力量×各 30 分コマに対応するエリアプライス(※4)÷(1-損失率(※5))×(1+消費税率)。

- (D) 使用電力量×一般社団法人日本卸電力取引所(以下「JEPX」といいます。)が定める約定量 1kWh あたりのスポット取引売買手数料(約定量従量制)(※6)÷(1-損失率(※5))×(1+消費税率)
 ※3:「30分コマ」とは、1日を毎時0分から30分までと毎時30分から0分までの48個に区切った30分単位を指すものとします。
 ※4:「エリアプライス」とは、JEPXのスポット市場取引における、東北電力ネットワーク株式会社の供給区域の30分コマごとのエリアプライスを指すものとします。
 ※5:「損失率」とは、東北電力ネットワーク株式会社が託送供給等約款にて定める損失率を指すものとします。
 ※6:N月の検針日からN+1月の検針日の前日までの期間において使用される電気の料金には、N+1月の検針日の前日が属する月のスポット取引売買手数料(約定量従量制)を適用するものとします。

4 工事用プラン(電灯)東京

電灯または小型機器をご使用のお客さま向けのメニューとし、次のいずれにも該当するものに適用します。

(1) 従量電灯C

イ. 適用条件

- (イ) 供給地が、東京電力パワーグリッド株式会社管内であること。
 (ロ) 契約容量が3キロボルトアンペア以上であり、かつ、原則として50キロボルトアンペア未満であること。
 (ハ) 1需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合は、契約容量と契約電力との合計(この場合、1キロボルトアンペアを1キロワットとみなします。)が50キロワット未満であること。ただし、1需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合で、お客さまが希望され、かつ、お客さまの電気の使用状態、当社の供給設備の状況等から当社が技術上または経済上低圧での電気の供給が適当と認めるときは、(イ)(ロ)に該当し、かつ、(ハ)の契約容量と契約電力との合計が50キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、当社は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。

ロ. 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトとし、周波数は、標準周波数50ヘルツとします。ただし、供給電気方式および供給電圧については、技術上または当社の供給設備の都合でやむをえない場合には、交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流3相3線式標準電圧200ボルトとすることがあります。

ハ. 契約負荷設備

契約負荷設備をあらかじめ設定していただきます。

ニ. 契約容量

- (イ) 契約容量は、契約負荷設備の総容量(入力とします。なお、出力で表示されている場合等は、各契約負荷設備ごとに[負荷設備の入力換算容量]によって換算するものとします。)に次の係数を乗じてえた値とします。ただし、差込口の数と電気機器の数が異なる場合等特別の事情がある場合は(契約負荷設備の総容量の算定)によって総容量を定め

最初の6キロボルトアンペアにつき	95パーセント
次の14キロボルトアンペアにつき	85パーセント
次の30キロボルトアンペアにつき	75パーセント
50キロボルトアンペアをこえる部分につき	65パーセント

- (ロ) お客さまが契約主開閉器により契約容量を定めることを希望される場合には、契約容量は、(イ)にかかわらず、契約主開閉器の定格電流にもとづき(契約容量および契約電力の算定方法)により算定された値とします。この場合、契約主開閉器をあらかじめ設定していただきます。なお、当社は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認します。

ホ. 料金

料金は、基本料金、電力量料金、調達料金、「たのしいでんき約款」別表1(再生可能エネルギー発電促進賦課金)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金、「たのしいでんき約款」別表5(容量拠出金反映額)に定める容量拠出金反映額の合計とします。

(イ) 基本料金

基本料金は、1月につき次のとおりとします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額とします。

契約容量1キロボルトアンペアにつき	308円63銭
-------------------	---------

(ロ) 電力量料金

a. 電力量料金は、以下の算定式によって求められる金額とします。

b. 使用電力量×(託送従量単価(※1)+需給管理手数料(※2))

※1:「託送従量単価」とは、東京電力パワーグリッド株式会社が託送供給等約款にて定める託送料金のうち、臨時接続送電サービスの単価を指すものとします。

※2:「需給管理手数料」とは、当社が定める、電力を安定的に供給し、これを管理するために要する費用相当額(消費税等相当額を含む)をいいます。

当該単価は、1kWhあたり5円とします。

(ハ) 調達料金

調達料金は、以下のa.およびb.それぞれの算定式によって求められる金額の総額とします。なお、各a.およびb.の金額の単位は0.01円とし、その端数は小数第3位以下を切り捨てるものとします。

- a. $30 \text{ 分コマ}(\times 3) \text{ ごとの使用電力量} \times \text{各 } 30 \text{ 分コマに対応するエリアプライス}(\times 4) \div (1 - \text{損失率}(\times 5)) \times (1 + \text{消費税率})$ 。
- b. $\text{使用電力量} \times \text{一般社団法人日本卸電力取引所(以下「JEPX」といいます。)} \text{が定める約定量 } 1\text{kWh あたりのスポット取引売買手数料(約定量従量制)}(\times 6) \div (1 - \text{損失率}(\times 5)) \times (1 + \text{消費税率})$
 ※3:「30 分コマ」とは、1 日を毎時 0 分から 30 分までと毎時 30 分から 0 分までの 48 個に区切った 30 分単位を指すものとします。
 ※4:「エリアプライス」とは、JEPX のスポット市場取引における、東京電力パワーグリッド株式会社の供給区域の 30 分コマごとのエリアプライスを指すものとします。
 ※5:「損失率」とは、東京電力パワーグリッド株式会社が託送供給等約款にて定める損失率を指すものとします。
 ※6:N 月の検針日から N+1 月の検針日の前日までの期間において使用される電気の料金には、N+1 月の検針日の前日が属する月のスポット取引売買手数料(約定量従量制)を適用するものとします。

5 工事用プラン(電灯)中部

電灯または小型機器をご使用のお客さま向けのメニューとし、次のいずれにも該当するものに適用します。

(1) 従量電灯 C

イ. 適用条件

- (イ) 供給地が、中部電力パワーグリッド株式会社管内であること。
- (ロ) 契約容量が 3 キロボルトアンペア以上であり、かつ、原則として 50 キロボルトアンペア未満であること。
 1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合は、契約容量と契約電力との合計(この場合、1 キロボルトアンペアを 1 キロワットとみなします。)が 50 キロワット未満であること。ただし、1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合で、お客さまが希望され、かつ、お客さまの電気の使用状態、当社の供給設備の状況等から当社が技術上または経済上低圧での電気の供給が適当と認めるときは、(イ)(ロ)に該当し、かつ、(ハ)の契約容量と契約電力との合計が 50 キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、当社は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。

ロ. 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトとし、周波数は、標準周波数 60 ヘルツまたは 50 ヘルツとします。ただし、供給電気方式および供給電圧については、技術上または当社の供給設備の都合でやむをえない場合には、交流単相 2 線式標準電圧 100 ボルトもしくは 200 ボルトまたは交流 3 相 3 線式標準電圧 200 ボルトとすることがあります。

ハ. 契約負荷設備

契約負荷設備をあらかじめ設定していただきます。

ニ. 契約容量

- (イ) 契約容量は、契約負荷設備の総容量(入力とします。なお、出力で表示されている場合等は、各契約負荷設備ごとに【負荷設備の入力換算容量】によって換算するものとします。)に次の係数を乗じてえた値とします。ただし、差込口の数と電気機器の数が異なる場合等特別の事情がある場合は(契約負荷設備の総容量の算定)によって総容量を定めます。

最初の 6 キロボルトアンペアにつき	95 パーセント
次の 14 キロボルトアンペアにつき	85 パーセント
次の 30 キロボルトアンペアにつき	75 パーセント
50 キロボルトアンペアをこえる部分につき	65 パーセント

- (ロ) お客さまが契約主開閉器により契約容量を定めることを希望される場合には、契約容量は、(イ)にかかわらず、契約主開閉器の定格電流にもとづき(契約容量および契約電力の算定方法)により算定された値とします。この場合、契約主開閉器をあらかじめ設定していただきます。なお、当社は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認します。

ホ. 料金

料金は、基本料金、電力量料金、調達料金、「たのしいでんき約款」別表 1(再生可能エネルギー発電促進賦課金)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金、「たのしいでんき約款」別表 5(容量拠出金反映額)に定める容量拠出金反映額の合計とします。

(イ) 基本料金

基本料金は、1月につき次のとおりとします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額とします。

契約容量 1 キロボルトアンペアにつき	314 円 77 銭
---------------------	------------

(ロ) 電力量料金

- a. 電力量料金は、以下の算定式によって求められる金額とします。

- b. $\text{使用電力量} \times (\text{託送従量単価}(\times 1) + \text{需給管理手数料}(\times 2))$

※1:「託送従量単価」とは、中部電力パワーグリッド株式会社が託送供給等約款にて定める託送料金のうち臨時接続送電サービスの単価を指すものとします。

※2:「需給管理手数料」とは、当社が定める、電力を安定的に供給し、これを管理するために要する費用相当額(消費税等相当額を含む)をいいます。

当該単価は、1kWh あたり 5 円とします。

(ハ) 調達料金

調達料金は、以下の a.および b.それぞれの算定式によって求められる金額の総額とします。なお、各 a.および b.の金額の単位は 0.01 円とし、その端数は小数第 3 位以下を切り捨てるものとします。

- a. $30 \text{ 分コマ}(\times 3) \times \text{ごとの使用電力量} \times \text{各 } 30 \text{ 分コマに対応するエリアプライス}(\times 4) \div (1 - \text{損失率}(\times 5)) \times (1 + \text{消費税率})$ 。
- b. $\text{使用電力量} \times \text{一般社団法人日本卸電力取引所(以下「JEPX」といいます。)} \text{が定める約定量 } 1\text{kWh あたりのスポット取引売買手数料(約定量従量制)}(\times 6) \div (1 - \text{損失率}(\times 5)) \times (1 + \text{消費税率})$
 $\times 3$:「30 分コマ」とは、1 日を毎時 0 分から 30 分までと毎時 30 分から 0 分までの 48 個に区切った 30 分単位を指すものとします。
 $\times 4$:「エリアプライス」とは、JEPX のスポット市場取引における、中部電力パワーグリッド株式会社の供給区域の 30 分コマごとのエリアプライスを指すものとします。
 $\times 5$:「損失率」とは、中部電力パワーグリッド株式会社が託送供給等約款にて定める損失率を指すものとします。
 $\times 6$:N 月の検針日から N+1 月の検針日の前日までの期間において使用される電気の料金には、N+1 月の検針日の前日が属する月のスポット取引売買手数料(約定量従量制)を適用するものとします。

6 工事用プラン(電灯)北陸

電灯または小型機器をご使用のお客さま向けのメニューとし、次のいずれにも該当するものに適用します。

(1) 従量電灯 C

イ. 適用条件

- (イ) 供給地が、北陸電力送配電株式会社管内であること。
- (ロ) 契約容量が 3 キロボルトアンペア以上であり、かつ、原則として 50 キロボルトアンペア未満であること。
1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合は、契約容量と契約電力との合計(この場合、1 キロボルトアンペアを 1 キロワットとみなします。)が 50 キロワット未満であること。ただし、1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合で、お客さまが希望され、かつ、お客さまの電気の使用状態、当社の供給設備の状況等から当社が技術上または経済上低圧での電気の供給が適当と認めるときは、(イ)(ロ)に該当し、かつ、(ハ)の契約容量と契約電力との合計が 50 キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、当社は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。

ロ. 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相 2 線式標準電圧 100 ボルトまたは交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトとし、周波数は、標準周波数 60 ヘルツとします。ただし、供給電気方式および供給電圧については、技術上やむをえない場合には、交流単相 2 線式標準電圧 200 ボルトまたは交流 3 相 3 線式標準電圧 200 ボルトとすることがあります。

ハ. 契約負荷設備

契約負荷設備をあらかじめ設定していただきます。

二. 契約容量

- (イ) 契約容量は、契約負荷設備の総容量(入力とします。なお、出力で表示されている場合等は、各契約負荷設備ごとに【負荷設備の入力換算容量】によって換算するものとします。)に次の係数を乗じてえた値とします。ただし、差込口の数と電気機器の数が異なる場合等特別の事情がある場合は(契約負荷設備の総容量の算定)によって総容量を定めます。

最初の 6 キロボルトアンペアにつき	95 パーセント
次の 14 キロボルトアンペアにつき	85 パーセント
次の 30 キロボルトアンペアにつき	75 パーセント
50 キロボルトアンペアをこえる部分につき	65 パーセント

- (ロ) お客さまが契約主開閉器により契約容量を定めることを希望される場合には、契約容量は、(イ)にかかわらず、契約主開閉器の定格電流にもとづき(契約容量および契約電力の算定方法)により算定された値とします。この場合、契約主開閉器をあらかじめ設定していただきます。なお、当社は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認します。

ホ. 料金

料金は、基本料金、電力量料金、「たのしいでんき約款」別表 1(再生可能エネルギー発電促進賦課金)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金、「たのしいでんき約款」別表 5(容量拠出金反映額)に定める容量拠出金反映額の合計とします。

(イ) 基本料金

基本料金は、1 月につき次のとおりとします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額とします。

契約容量 1 キロボルトアンペアにつき	297 円 50 銭
---------------------	------------

(ロ) 電力量料金

- a. 電力量料金は、以下の算定式によって求められる金額とします。
- b. $\text{使用電力量} \times (\text{託送従量単価}(\times 1) + \text{需給管理手数料}(\times 2))$

※1:「託送従量単価」とは北陸電力送配電株式会社が託送供給等約款にて定める託送料金のうち臨時接続送電サービスの単価を指すものとします。

※2:「需給管理手数料」とは、当社が定める、電力を安定的に供給し、これを管理するために要する費用相当額(消費税等相当額を含む)をいいます。

当該単価は、1kWh あたり 5 円とします。

ハ. 調達料金

調達料金は、以下の a.および b.それぞれの算定式によって求められる金額の総額とします。なお、各 a.および b.の金額の単位は 0.01 円とし、その端数は小数第 3 位以下を切り捨てるものとします。

a. $30 \text{ 分コマ}(\times 3) \text{ ごと} \times \text{使用電力量} \times \text{各 30 分コマに対応するエリアプライス}(\times 4) \div (1 - \text{損失率}(\times 5)) \times (1 + \text{消費税率})$ 。

b. $\text{使用電力量} \times \text{一般社団法人日本卸電力取引所(以下「JEPX」といいます。)} \text{が定める約定量 1kWh あたりのスポット取引売買手数料(約定量従量制)}(\times 6) \div (1 - \text{損失率}(\times 5)) \times (1 + \text{消費税率})$

※3:「30 分コマ」とは、1 日を毎時 0 分から 30 分までと毎時 30 分から 0 分までの 48 個に区切った 30 分単位を指すものとします。

※4:「エリアプライス」とは、JEPX のスポット市場取引における、北陸電力送配電株式会社の供給区域の 30 分コマごとのエリアプライスを指すものとします。

※5:「損失率」とは、北陸電力送配電株式会社が託送供給等約款にて定める損失率を指すものとします。

※6:N 月の検針日から N+1 月の検針日の前日までの期間において使用される電気の料金には、N+1 月の検針日の前日が属する月のスポット取引売買手数料(約定量従量制)を適用するものとします。

7 工事用プラン(電灯)関西

電灯または小型機器をご使用のお客さま向けのメニューとし、次のいずれにも該当するものに適用します。

(1) 従量電灯 B

イ. 適用条件

(イ) 供給地が、関西電力送配電株式会社管内であること。

(ロ) 契約容量が原則として 6 キロボルトアンペア未満であること。

(ハ) 1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合は、契約容量と契約電力との合計(この場合、1 キロボルトアンペアを 1 キロワットとみなします。)が 50 キロワット未満であること。ただし、1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合で、お客さまが希望され、かつ、お客さまの電気の使用状態、当社の供給設備の状況等から当社が技術上または経済上低圧での電気の供給が適当と認めるときは、(イ)(ロ)に該当し、かつ、(ハ)の契約容量と契約電力との合計が 50 キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、当社は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。

ロ. 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトとし、周波数は、標準周波数 60 ヘルツとします。ただし、供給電気方式および供給電圧については、技術上または当社の供給設備の都合でやむをえない場合には、交流単相 2 線式標準電圧 100 ボルトもしくは 200 ボルトまたは交流 3 相 3 線式標準電圧 200 ボルトとすることがあります。

ハ. 契約負荷設備

契約負荷設備をあらかじめ設定していただきます。

ニ. 契約容量

(イ) 契約容量は、契約負荷設備の総容量(入力とします。なお、出力で表示されている場合等は、各契約負荷設備ごとに[負荷設備の入力換算容量]によって換算するものとします。に次の係数を乗じてえた値とします。ただし、差込口の数と電気機器の数が異なる場合等特別の事情がある場合は(契約負荷設備の総容量の算定)によって総容量を定めます。

最初の 6 キロボルトアンペアにつき	95 パーセント
次の 14 キロボルトアンペアにつき	85 パーセント
次の 30 キロボルトアンペアにつき	75 パーセント
50 キロボルトアンペアをこえる部分につき	65 パーセント

(ロ) お客さまが契約主開閉器により契約容量を定めることを希望される場合には、契約容量は、(イ)にかかわらず、契約主開閉器の定格電流にもとづき(契約容量および契約電力の算定方法)により算定された値とします。この場合、契約主開閉器をあらかじめ設定していただきます。なお、当社は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認します。

ホ. 料金

料金は、基本料金、電力量料金、調達料金、「たのしいでんき約款」別表 1(再生可能エネルギー発電促進賦課金)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金、「たのしいでんき約款」別表 5(容量拠出金反映額)に定める容量拠出金反映額の合計とします。

(イ) 基本料金

基本料金は、1月につき次のとおりとします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額とします。

6 キロボルトアンペア未満	692 円 04 銭
---------------	------------

(ロ) 電力量料金

a. 電力量料金は、以下の算定式によって求められる金額とします。

b. 使用電力量×(託送従量単価(※1)+需給管理手数料(※2))

※1:「託送従量単価」とは関西電力送配電株式会社が託送供給等約款にて定める託送料金のうち臨時接続送電サービスの単価を指すものとします。

※2:「需給管理手数料」とは、当社が定める、電力を安定的に供給し、これを管理するために要する費用相当額(消費税等相当額を含む)をいいます。

当該単価は、1kWh あたり 5 円とします。

ハ. 調達料金

調達料金は、以下の a.および b.それぞれの算定式によって求められる金額の総額とします。なお、各 a.および b.の金額の単位は 0.01 円とし、その端数は小数第 3 位以下を切り捨てるものとします。

a. 30 分コマ(※3)ごとの使用電力量×各 30 分コマに対応するエリアプライス(※4)÷(1-損失率(※5))×(1+消費税率)。

b. 使用電力量×一般社団法人日本卸電力取引所(以下「JEPX」といいます。)が定める約定量 1kWh あたりのスポット取引売買手数料(約定量従量制)(※6)÷(1-損失率(※5))×(1+消費税率)

※3:「30 分コマ」とは、1 日を毎時 0 分から 30 分までと毎時 30 分から 0 分までの 48 個に区切った 30 分単位を指すものとします。

※4:「エリアプライス」とは、JEPX のスポット市場取引における、関西電力送配電株式会社の供給区域の 30 分コマごとのエリアプライスを指すものとします。

※5:「損失率」とは、関西電力送配電株式会社が託送供給等約款にて定める損失率を指すものとします。

※6:N 月の検針日から N+1 月の検針日の前日までの期間において使用される電気の料金には、N+1 月の検針日の前日が属する月のスポット取引売買手数料(約定量従量制)を適用するものとします。

(2) 従量電灯 C

イ. 適用条件

(イ) 供給地が、関西電力送配電株式会社管内であること。

(ロ) 契約容量が 6 キロボルトアンペア以上であり、かつ、原則として 50 キロボルトアンペア未満であること。

(ハ) 1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合は、契約容量と契約電力との合計(この場合、1 キロボルトアンペアを 1 キロワットとみなします。)が 50 キロワット未満であること。ただし、1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合で、お客さまが希望され、かつ、お客さまの電気の使用状態、当社の供給設備の状況等から当社が技術上または経済上低圧での電気の供給が適当と認めるときは、(イ)(ロ)に該当し、かつ、(ハ)の契約容量と契約電力との合計が 50 キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、当社は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。

ロ. 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトとし、周波数は、標準周波数 60 ヘルツとします。ただし、供給電気方式および供給電圧については、技術上または当社の供給設備の都合でやむをえない場合には、交流単相 2 線式標準電圧 100 ボルトもしくは 200 ボルトまたは交流 3 相 3 線式標準電圧 200 ボルトとすることがあります。

ハ. 契約負荷設備

契約負荷設備をあらかじめ設定していただきます。

ニ. 契約容量

(イ) 契約容量は、契約負荷設備の総容量(入力とします。なお、出力で表示されている場合等は、各契約負荷設備ごとに[負荷設備の入力換算容量]によって換算するものとします。)に次の係数を乗じてえた値とします。ただし、差込口の数と電気機器の数が異なる場合等特別の事情がある場合は(契約負荷設備の総容量の算定)によって総容量を定めます。

最初の 6 キロボルトアンペアにつき	95 パーセント
次の 14 キロボルトアンペアにつき	85 パーセント
次の 30 キロボルトアンペアにつき	75 パーセント
50 キロボルトアンペアをこえる部分につき	65 パーセント

(ロ) お客さまが契約主開閉器により契約容量を定めることを希望される場合には、契約容量は、(イ)にかかわらず、契約主開閉器の定格電流にもとづき(契約容量および契約電力の算定方法)により算定された値とします。この場合、契約主開閉器をあらかじめ設定していただきます。なお、当社は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認します。

ホ. 料金

料金は、基本料金、電力量料金、調達料金、「たのしいでんき約款」別表 1(再生可能エネルギー発電促進賦課金)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金、「たのしいでんき約款」別表 5(容量拠出金反映額)に定める容量拠出金反映額の合計とします。

(イ) 基本料金

基本料金は、1月につき次のとおりとします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額とします。

6 キロボルトアンペア以上 1キロボルトアンペアにつき	448 円 29 銭
-----------------------------	------------

(ロ) 電力量料金

a. 電力量料金は、以下の算定式によって求められる金額とします。

b. 使用電力量×(託送従量単価(※1)+需給管理手数料(※2))

※1:「託送従量単価」とは関西電力送配電株式会社が託送供給等約款にて定める託送料金のうち、臨時接続送電サービスの単価を指すものとします。

※2:「需給管理手数料」とは、当社が定める、電力を安定的に供給し、これを管理するために要する費用相当額(消費税等相当額を含む)をいいます。

当該単価は、1kWh あたり 5 円とします。

ハ. 調達料金

調達料金は、以下の a.および b.それぞれの算定式によって求められる金額の総額とします。なお、各 a.および b.の金額の単位は 0.01 円とし、その端数は小数第 3 位以下を切り捨てるものとします。

a. 30 分コマ(※3)ごとの使用電力量×各 30 分コマに対応するエリアプライス(※4)÷(1-損失率(※5))×(1+消費税率)。

b. 使用電力量×一般社団法人日本卸電力取引所(以下「JEPX」といいます。)が定める約定量 1kWh あたりのスポット取引売買手数料(約定量従量制)(※6)÷(1-損失率(※5))×(1+消費税率)

※3:「30 分コマ」とは、1 日を毎時 0 分から 30 分までと毎時 30 分から 0 分までの 48 個に区切った 30 分単位を指すものとします。

※4:「エリアプライス」とは、JEPX のスポット市場取引における、関西電力送配電株式会社の供給区域の 30 分コマごとのエリアプライスを指すものとします。

※5:「損失率」とは、関西電力送配電株式会社が託送供給等約款にて定める損失率を指すものとします。

※6:N 月の検針日から N+1 月の検針日の前日までの期間において使用される電気の料金には、N+1 月の検針日の前日が属する月のスポット取引売買手数料(約定量従量制)を適用するものとします。

8 工事用プラン(電灯)中国

電灯または小型機器をご使用のお客さま向けのメニューとし、次のいずれにも該当するものに適用します。

(1) 従量電灯 B

イ. 適用条件

(イ) 供給地が、中国電力ネットワーク株式会社管内であること。

(ロ) 契約容量が原則として 6 口ボルトアンペア未満であること。

(ハ) 1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合は、契約容量と契約電力との合計(この場合、1 キロボルトアンペアを 1 キロワットとみなします。)が 50 キロワット未満であること。ただし、1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合で、お客さまが希望され、かつ、お客さまの電気の使用状態、当社の供給設備の状況等から当社が技術上または経済上低圧での電気の供給が適当と認めるときは、(イ)(ロ)に該当し、かつ、(ハ)の契約容量と契約電力との合計が 50 キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、当社は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。

ロ. 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトとし、周波数は、標準周波数 60 ヘルツとします。ただし、供給電気方式および供給電圧については、技術上または当社の供給設備の都合でやむをえない場合には、交流単相 2 線式標準電圧 100 ボルトもしくは 200 ボルトまたは交流 3 相 3 線式標準電圧 200 ボルトとすることがあります。

ハ. 契約負荷設備

契約負荷設備をあらかじめ設定していただきます。

ニ. 契約容量

(イ) 契約容量は、契約負荷設備の総容量(入力とします。なお、出力で表示されている場合等は、各契約負荷設備ごとに[負荷設備の入力換算容量]によって換算するものとします。)に次の係数を乗じてえた値とします。ただし、差込口の数と電気機器の数が異なる場合等特別の事情がある場合は(契約負荷設備の総容量の算定)によって総容量を定めます。

最初の 6 キロボルトアンペアにつき	95 パーセント
次の 14 キロボルトアンペアにつき	85 パーセント
次の 30 キロボルトアンペアにつき	75 パーセント
50 キロボルトアンペアをこえる部分につき	65 パーセント

(ロ) お客さまが契約主開閉器により契約容量を定めることを希望される場合には、契約容量は、(イ)にかかわらず、契約主開閉器の定格電流にもとづき(契約容量および契約電力の算定方法)により算定された値とします。この場合、契約主開閉器をあらかじめ設定していただきます。なお、当社は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認します。

ホ. 料金

料金は、基本料金、電力量料金、調達料金、「たのしいでんき約款」別表 1(再生可能エネルギー発電促進賦課金)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金、「たのしいでんき約款」別表 5(容量拠出金反映額)に定める容量拠出金反映額の合計とします。

(イ) 基本料金

基本料金は、1月につき次のとおりとします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額とします。

6 キロボルトアンペア未満	836 円 04 銭
---------------	------------

(0) 電力量料金

- a. 電力量料金は、以下の算定式によって求められる金額とします。
b. 使用電力量×(託送従量単価(※1)+需給管理手数料(※2))

※1:「託送従量単価」とは、中国電力ネットワーク株式会社が託送供給等約款にて定める託送料金のうち、臨時接続送電サービスの単価を指すものとします。

※2:「需給管理手数料」とは、当社が定める、電力を安定的に供給し、これを管理するために要する費用相当額(消費税等相当額を含む)をいいます。

当該単価は、1kWhあたり5円とします。

ハ. 調達料金

調達料金は、以下の a.および b.それぞれの算定式によって求められる金額の総額とします。なお、各 a.および b.の金額の単位は0.01円とし、その端数は小数第3位以下を切り捨てるものとします。

- a. 30分コマ(※3)ごとの使用電力量×各30分コマに対応するエリアプライス(※4)÷(1-損失率(※5))×(1+消費税率)。
b. 使用電力量×一般社団法人日本卸電力取引所(以下「JEPX」といいます。)が定める約定量1kWhあたりのスポット取引売買手数料(約定量従量制)(※6)÷(1-損失率(※5))×(1+消費税率)
※3:「30分コマ」とは、1日を毎時0分から30分までと毎時30分から0分までの48個に区切った30分単位を指すものとします。
※4:「エリアプライス」とは、JEPXのスポット市場取引における、中国電力ネットワーク株式会社の供給区域の30分コマごとのエリアプライスを指すものとします。
※5:「損失率」とは、中国電力ネットワーク株式会社が託送供給等約款にて定める損失率を指すものとします。
※6:N月の検針日からN+1月の検針日の前日までの期間において使用される電気の料金には、N+1月の検針日の前日が属する月のスポット取引売買手数料(約定量従量制)を適用するものとします。

(2) 従量電灯C

イ. 適用条件

- (イ) 供給地が中国電力ネットワーク管内であること。
(ロ) 6キロボルトアンペア以上であり、かつ、原則として50キロボルトアンペア未満であること。
(ハ) 1需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合は、契約容量と契約電力との合計(この場合、1キロボルトアンペアを1キロワットとみなします。)が50キロワット未満であること。ただし、1需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合で、お客さまが希望され、かつ、お客さまの電気の使用状態、当社の供給設備の状況等から当社が技術上または経済上低圧での電気の供給が適当と認めるときは、(イ)(ロ)に該当し、かつ、(ハ)の契約容量と契約電力との合計が50キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、当社は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。

イ. 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトとし、周波数は、標準周波数60ヘルツとします。ただし、供給電気方式および供給電圧については、技術上または当社の供給設備の都合でやむをえない場合には、交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流3相3線式標準電圧200ボルトとすることがあります。

ハ. 契約負荷設備

契約負荷設備をあらかじめ設定していただきます。

二. 契約容量

- (イ) 契約容量は、契約負荷設備の総容量(入力とします。なお、出力で表示されている場合等は、各契約負荷設備ごとに[負荷設備の入力換算容量]によって換算するものとします。)に次の係数を乗じてえた値とします。ただし、差込口の数と電気機器の数が異なる場合等特別の事情がある場合は(契約負荷設備の総容量の算定)によって総容量を定めます。

最初の6キロボルトアンペアにつき	95パーセント
次の14キロボルトアンペアにつき	85パーセント
次の30キロボルトアンペアにつき	75パーセント
50キロボルトアンペアをこえる部分につき	65パーセント

- (ロ) お客さまが契約主開閉器により契約容量を定めることを希望される場合には、契約容量は、(イ)にかかわらず、契約主開閉器の定格電流にもとづき(契約容量および契約電力の算定方法)により算定された値とします。この場合、契約主開閉器をあらかじめ設定していただきます。なお、当社は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認します。

ホ. 料金料金

料金は、基本料金、電力量料金、調達料金、「たのしいでんき約款」別表1(再生可能エネルギー発電促進賦課金)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金、「たのしいでんき約款」別表5(容量拠出金反映額)に定める容量拠出金反映額の合計とします。

(イ) 基本料金

基本料金は、1月につき次のとおりとします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額とします。

6 キロボルトアンペア以上 1キロボルトアンペアにつき	475 円 90 銭
-----------------------------	------------

- (D) 電力量料金
- a. 電力量料金は、以下の算定式によって求められる金額とします。
- b. $\text{使用電力量} \times (\text{託送従量単価}(\ast 1) + \text{需給管理手数料}(\ast 2))$
 $\ast 1$:「託送従量単価」とは中国電力ネットワーク株式会社が託送供給等約款にて定める託送料金のうち、臨時接続送電サービスの単価を指すものとします。
 $\ast 2$:「需給管理手数料」とは、当社が定める、電力を安定的に供給し、これを管理するために要する費用相当額(消費税等相当額を含む)をいいます。
 当該単価は、1kWh あたり 5 円とします。

ハ. 調達料金

調達料金は、以下の a.および b.それぞれの算定式によって求められる金額の総額とします。なお、各 a.および b.の金額の単位は 0.01 円とし、その端数は小数第 3 位以下を切り捨てるものとします。

- a. $30 \text{ 分コマ}(\ast 3) \text{ ごと} \times \text{使用電力量} \times \text{各 30 分コマに対応するエリアプライス}(\ast 4) \div (1 - \text{損失率}(\ast 5)) \times (1 + \text{消費税率})$ 。
- b. $\text{使用電力量} \times \text{一般社団法人日本卸電力取引所(以下「JEPX」といいます。)} \text{ が定める約定量 1kWh あたりのスポット取引売買手数料(約定量従量制)}(\ast 6) \div (1 - \text{損失率}(\ast 5)) \times (1 + \text{消費税率})$
 $\ast 3$:「30 分コマ」とは、1 日を毎時 0 分から 30 分までと毎時 30 分から 0 分までの 48 個に区切った 30 分単位を指すものとします。
 $\ast 4$:「エリアプライス」とは、JEPX のスポット市場取引における、中国電力ネットワーク株式会社の供給区域の 30 分コマごとのエリアプライスを指すものとします。
 $\ast 5$:「損失率」とは、中国電力ネットワーク株式会社が託送供給等約款にて定める損失率を指すものとします。
 $\ast 6$:N 月の検針日から N+1 月の検針日の前日までの期間において使用される電気の料金には、N+1 月の検針日の前日が属する月のスポット取引売買手数料(約定量従量制)を適用するものとします。

9 工事用プラン(電灯)四国

電灯または小型機器をご使用のお客さま向けのメニューとし、次のいずれにも該当するものに適用します。

(1) 従量電灯 B

イ. 適用条件

- (イ) 供給地が、四国電力送配電株式会社管内であること。
- (ロ) 契約容量が 6 キロボルトアンペア未満であること。
- (ハ) 1需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合は、最大需要容量と契約電力との合計(この場合、1キロボルトアンペアを1キロワットとみなします)が50キロワット未満であること。
 ただし、1需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合で、お客さまが希望され、かつ、お客さまの電気の使用状態、当社の供給設備の状況等から当社が技術上または経済上低圧での電気の供給が適当と認めたときは、(イ)(ロ)に該当し、かつ、(ハ)の最大需要容量と契約電力との合計が50キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、当社は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。

ロ. 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相2線式標準電圧100ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトとし、周波数は、標準周波数60ヘルツとします。ただし、供給電気方式および供給電圧については、技術上やむをえない場合には、交流単相2線式標準電圧200ボルトまたは交流3相3線式標準電圧200ボルトとすることがあります。

ハ. 契約負荷設備

契約負荷設備をあらかじめ設定していただきます。

ニ. 契約容量

- (イ) 契約容量は、契約負荷設備の総容量(入力とします。なお、出力で表示されている場合等は、各契約負荷設備ごとに【負荷設備の入力換算容量】によって換算するものとします。)に次の係数を乗じてえた値とします。ただし、差込口の数と電気機器の数が異なる場合等特別の事情がある場合は(契約負荷設備の総容量の算定)によって総容量を定めます。

最初の 6 キロボルトアンペアにつき	95 パーセント
次の 14 キロボルトアンペアにつき	85 パーセント
次の 30 キロボルトアンペアにつき	75 パーセント
50 キロボルトアンペアをこえる部分につき	65 パーセント

- (ロ) お客さまが契約主開閉器により契約容量を定めることを希望される場合には、契約容量は、(イ)にかかわらず、契約主開閉器の定格電流にもとづき(契約容量および契約電力の算定方法)により算定された値とします。この場合、契約主開閉器をあらかじめ設定していただきます。なお、当社は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認します。

ホ. 料金

料金は、基本料金、電力量料金、調達料金、「たのしいでんき約款」別表 1(再生可能エネルギー発電促進賦課金)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金、「たのしいでんき約款」別表 5(容量拠出金反映額)に定める容量拠出金反映額の合計とします。

(イ) 基本料金

基本料金は、1月につき次のとおりとします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額とします。

6 キロボルトアンペア未満	730 円 41 銭
---------------	------------

(ロ) 電力量料金

a. 電力量料金は、以下の算定式によって求められる金額とします。

b. $\text{使用電力量} \times (\text{託送従量単価}(\ast 1) + \text{需給管理手数料}(\ast 2))$

※1:「託送従量単価」とは、四国電力送配電株式会社が託送供給等約款にて定める託送料金のうち、臨時接続送電サービスの単価を指すものとします。

※2:「需給管理手数料」とは、当社が定める、電力を安定的に供給し、これを管理するために要する費用相当額(消費税等相当額を含む)をいいます。

当該単価は、1kWh あたり 5 円とします。

ホ. 調達料金

調達料金は、以下の a.および b.それぞれの算定式によって求められる金額の総額とします。なお、各 a.および b.の金額の単位は 0.01 円とし、その端数は小数第 3 位以下を切り捨てるものとします。

a. $30 \text{ 分コマ}(\ast 3) \text{ ごと} \times \text{使用電力量} \times \text{各 } 30 \text{ 分コマ} \text{ に対応するエリアプライス}(\ast 4) \div (1 - \text{損失率}(\ast 5)) \times (1 + \text{消費税率})$

b. $\text{使用電力量} \times \text{一般社団法人日本卸電力取引所(以下「JEPX」といいます。)} \text{ が定める約定量 } 1\text{kWh} \text{ あたり} \text{ のスポット取引売買手数料(約定量従量制)}(\ast 6) \div (1 - \text{損失率}(\ast 5)) \times (1 + \text{消費税率})$

※3:「30 分コマ」とは、1 日を毎時 0 分から 30 分までと毎時 30 分から 0 分までの 48 個に区切った 30 分単位を指すものとします。

※4:「エリアプライス」とは、JEPX のスポット市場取引における、四国電力送配電株式会社の供給区域の 30 分コマごとのエリアプライスを指すものとします。

※5:「損失率」とは、四国電力送配電株式会社が託送供給等約款にて定める損失率を指すものとします。

※6:N 月の検針日から N+1 月の検針日の前日までの期間において使用される電気の料金には、N+1 月の検針日の前日が属する月のスポット取引売買手数料(約定量従量制)を適用するものとします。

(2) 従量電灯 C

イ. 適用条件

(イ) 供給地が四国電力ネットワーク管内であること。

(ロ) 6 キロボルトアンペア以上であり、かつ、原則として 50 キロボルトアンペア未満であること。

(ハ) 1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合は、契約容量と契約電力との合計(この場合、1 キロボルトアンペアを 1 キロワットとみなします。)が 50 キロワット未満であること。ただし、1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合で、お客さまが希望され、かつ、お客さまの電気の使用状態、当社の供給設備の状況等から当社が技術上または経済上低圧での電気の供給が適当と認めるときは、(イ)(ロ)に該当し、かつ、(ハ)の契約容量と契約電力との合計が 50 キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、当社は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。

ロ. 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトとし、周波数は、標準周波数 60 ヘルツとします。ただし、供給電気方式および供給電圧については、技術上または当社の供給設備の都合でやむをえない場合には、交流単相 2 線式標準電圧 100 ボルトもしくは 200 ボルトまたは交流 3 相 3 線式標準電圧 200 ボルトとすることがあります。

ハ. 契約負荷設備

契約負荷設備をあらかじめ設定していただきます。

二. 契約容量

(イ) 契約容量は、契約負荷設備の総容量(入力とします。なお、出力で表示されている場合等は、各契約負荷設備ごとに[負荷設備の入力換算容量]によって換算するものとします。)に次の係数を乗じてえた値とします。ただし、差込口の数と電気機器の数が異なる場合等特別の事情がある場合は(契約負荷設備の総容量の算定)によって総容量を定めます。

最初の 6 キロボルトアンペアにつき	95 パーセント
次の 14 キロボルトアンペアにつき	85 パーセント
次の 30 キロボルトアンペアにつき	75 パーセント
50 キロボルトアンペアをこえる部分につき	65 パーセント

(ロ) お客さまが契約主開閉器により契約容量を定めることを希望される場合には、契約容量は、(イ)にかかわらず、契約主開閉器の定格電流にもとづき(契約容量および契約電力の算定方法)により算定された値とします。この場合、契約主開閉器をあらかじめ設定していただきます。なお、当社は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認します。

ホ. 料金

料金は、基本料金、電力量料金、調達料金、「たのしいでんき約款」別表 1(再生可能エネルギー発電促進賦課金)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金、「たのしいでんき約款」別表 5(容量拠出金反映額)に定める容量拠出金反映額の合計とします。

(イ) 基本料金

基本料金は、1月につき次のとおりとします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額とします。

6 キロボルトアンペア以上 1キロボルトアンペアにつき	398 円 97 銭
-----------------------------	------------

(ロ) 電力量料金

a. 電力量料金は、以下の算定式によって求められる金額とします。

b. $\text{使用電力量} \times (\text{託送従量単価}(\times 1) + \text{需給管理手数料}(\times 2))$

※1:「託送従量単価」とは四国電力送配電株式会社(以下「四国電力」)が託送供給等約款にて定める託送料金のうち、臨時接続送電サービスの単価を指すものとします。

※2:「需給管理手数料」とは、当社が定める、電力を安定的に供給し、これを管理するために要する費用相当額(消費税等相当額を含む)をいいます。

当該単価は、1kWh あたり 5 円とします。

ハ. 調達料金

調達料金は、以下の a.および b.それぞれの算定式によって求められる金額の総額とします。なお、各 a.および b.の金額の単位は 0.01 円とし、その端数は小数第 3 位以下を切り捨てるものとします。

a. $30 \text{分コマ}(\times 3) \text{ごとの使用電力量} \times \text{各 } 30 \text{分コマに対応するエリアプライス}(\times 4) \div (1 - \text{損失率}(\times 5)) \times (1 + \text{消費税率})$

b. $\text{使用電力量} \times \text{一般社団法人日本卸電力取引所(以下「JEPX」といいます。)} \text{が定める約定量 } 1\text{kWh あたりのスポット取引売買手数料(約定量従量制)}(\times 6) \div (1 - \text{損失率}(\times 5)) \times (1 + \text{消費税率})$

※3:「30 分コマ」とは、1 日を毎時 0 分から 30 分までと毎時 30 分から 0 分までの 48 個に区切った 30 分単位を指すものとします。

※4:「エリアプライス」とは、JEPX のスポット市場取引における、四国電力送配電株式会社の供給区域の 30 分コマごとのエリアプライスを指すものとします。

※5:「損失率」とは、四国電力送配電株式会社が託送供給等約款にて定める損失率を指すものとします。

※6:N 月の検針日から N+1 月の検針日の前日までの期間において使用される電気の料金には、N+1 月の検針日の前日が属する月のスポット取引売買手数料(約定量従量制)を適用するものとします。

10 工事用プラン(電灯)九州

電灯または小型機器をご使用のお客さま向けのメニューとし、次のいずれにも該当するものに適用します。

(1) 従量電灯 C

イ. 適用条件

(イ) 供給地が、九州電力送配電株式会社管内であること。

(ロ) 契約容量が 3 キロボルトアンペア以上であり、かつ、原則として 50 キロボルトアンペア未満であること。

(ハ) 1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合は、契約容量と契約電力との合計(この場合、1 キロボルトアンペアを 1 キロワットとみなします。)が 50 キロワット未満であること。ただし、1 需要場所において低圧電力とあわせて契約する場合で、お客さまが希望され、かつ、お客さまの電気の使用状態、当社の供給設備の状況等から当社が技術上または経済上低圧での電気の供給が適当と認めるときは、(イ) (ロ)に該当し、かつ、(ハ)の契約容量と契約電力との合計が 50 キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、当社は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。

ロ. 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相2線式標準電圧100ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトとし、周波数は、標準周波数60ヘルツとします。ただし、供給電気方式および供給電圧については、技術上やむをえない場合には、交流単相2線式標準電圧200ボルトまたは交流3相3線式標準電圧200ボルトとすることがあります。

ハ. 契約負荷設備

契約負荷設備をあらかじめ設定していただきます。

二. 契約容量

契約容量は、契約負荷設備の総容量(入力とします。なお、出力で表示されている場合等は、各契約負荷設備ごとに[負荷設備の入力換算容量]によって換算するものとします。)に次の係数を乗じてえた値とします。ただし、差込口の数と電気機器の数が異なる場合等特別の事情がある場合は(契約負荷設備の総容量の算定)によって総容量を定めます。

(イ) 契約容量は、契約負荷設備の総容量(入力とします。なお、出力で表示されている場合等は、各契約負荷設備ごとに[負荷設備の入力換算容量]によって換算するものとします。)に次の係数を乗じてえた値とします。ただし、差込口の数と電気機器の数が異なる場合等特別の事情がある場合は(契約負荷設備の総容量の算定)によって総容量を定めます。

最初の 6 キロボルトアンペアにつき	95 パーセント
次の 14 キロボルトアンペアにつき	85 パーセント
次の 30 キロボルトアンペアにつき	75 パーセント
50 キロボルトアンペアをこえる部分につき	65 パーセント

- (ロ) お客さまが契約主開閉器により契約容量を定めることを希望される場合には、契約容量は、(イ)にかかわらず、契約主開閉器の定格電流にもとづき(契約容量および契約電力の算定方法)により算定された値とします。この場合、契約主開閉器をあらかじめ設定していただきます。なお、当社は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認します。

ホ. 料金

料金は、基本料金、電力量料金、調達料金、「たのしいでんき約款」別表 1(再生可能エネルギー発電促進賦課金)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金、「たのしいでんき約款」別表 5(容量抛入金反映額)に定める容量抛入金反映額の合計とします。

(イ) 基本料金

基本料金は、1月につき次のとおりとします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額とします。

契約容量 1 キロボルトアンペアにつき	316 円 04 銭
---------------------	------------

(ロ) 電力量料金

a. 電力量料金は、以下の算定式によって求められる金額とします。

b. $\text{使用電力量} \times \text{託送従量単価} (\text{託送従量単価} (\times 1) + \text{需給管理手数料} (\times 2))$

※1:「託送従量単価」とは、九州電力送配電株式会社が託送供給等約款にて定める託送料金のうち臨時接続送電サービスの単価を指すものとします。

※2:「需給管理手数料」とは、当社が定める、電力を安定的に供給し、これを管理するために要する費用相当額(消費税等相当額を含む)をいいます。

当該単価は、1kWh あたり 5 円とします。

ハ. 調達料金

調達料金は、以下の a.および b.それぞれの算定式によって求められる金額の総額とします。なお、各 a.および b.の金額の単位は 0.01 円とし、その端数は小数第 3 位以下を切り捨てるものとします。

a. $30 \text{ 分コマ} (\times 3) \text{ ごと} \times \text{使用電力量} \times \text{各 30 分コマに対応するエリアプライス} (\times 4) \div (1 - \text{損失率} (\times 5)) \times (1 + \text{消費税率})$ 。

b. $\text{使用電力量} \times \text{一般社団法人日本卸電力取引所(以下「JEPX」といいます。)} \text{ が定める約定量 1kWh あたりのスポット取引売買手数料(約定量従量制)} (\times 6) \div (1 - \text{損失率} (\times 5)) \times (1 + \text{消費税率})$

※3:「30 分コマ」とは、1 日を毎時 0 分から 30 分までと毎時 30 分から 0 分までの 48 個に区切った 30 分単位を指すものとします。

※4:「エリアプライス」とは、JEPX のスポット市場取引における、九州電力送配電株式会社の供給区域の 30 分コマごとのエリアプライスを指すものとします。

※5:「損失率」とは、九州電力送配電株式会社が託送供給等約款にて定める損失率を指すものとします。

※6:N 月の検針日から N+1 月の検針日の前日までの期間において使用される電気の料金には、N+1 月の検針日の前日が属する月のスポット取引売買手数料(約定量従量制)を適用するものとします。

11 本説明書の変更および廃止

- (1) 当社は、本説明書を変更する場合には、たのしいでんき約款 2(約款の変更)に準じます。
- (2) 当社は、本説明書を廃止することがあります。この場合、当社はあらかじめ一定期間、廃止のお知らせおよび廃止日を当社ホームページに掲載します。
- (3) 本説明書の廃止にともない、当社がお客さまに対し、供給条件の説明、契約締結前の書面交付および契約締結後の書面交付を行う場合は、たのしいでんき約款 2 の 2(供給条件の説明等)に準じます。
- (4) 本説明書廃止に伴う、各種賠償等には応じないものとします。